

1. 職名・氏名 助教・池本 裕行

2. 学位 学位 博士、専門分野 農学、授与機関 京都大学、授与年月 2013年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 日本経済史（4単位）2年生（2019年度）
②内容・ねらい（自由記述）	日本経済を歴史的視点で捉え、江戸時代から現代までの流れと特色について講義した。日本経済について、長期的（歴史的）に考えるとともに、基礎的な歴史過程を説明できるようになることを目指した。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	講義では、その内容を記したプリントを配布した。当初は空欄を設けておき、教室前のスライドを見て埋めてもらうようにしていたが、それでは口頭での説明を聞き逃すことがあるとの学生からの意見があったため、空欄をなくし、説明により集中できるように変更した。また、理解を深めるためDVDも教材として併用した。毎回講義の最後に時間をとって課した出席レポートは、次週の講義までに確認し、次週の講義の冒頭で、前週の補足説明や質問への回答を行った。
①担当科目名（単位数）	主たる配当年次等 演習Ⅰ（4単位）3年生（2019年度）
②内容・ねらい（自由記述）	日本経済史に関するテキストの輪読と、各自の研究テーマに関する報告を行った。日本経済の歴史について理解を深めると同時に、先行研究を踏まえて自分の研究テーマを見出すことを目指した。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	報告では、テキストの丸写しにならないようレジュメの分量について上限を定めたり、報告者以外の全員に必ず報告内容に対する意見を述べることを求めたりすることで、発表力、表現・発言力の養成を図った。また、自分の関心のあるテーマの文献を読んで報告してもらうことで、卒業論文・研究に速やかに取りかかることができるようにした。 机上の学習に終わらないよう、学外でのフィールドワークとして、永平寺や福井県立歴史博物館、丸岡城を見学したり、福井工芸産業振興協議会・華道未生流福井支部が主催した「第15回 暮らしの工芸展」においてアンケート調査を行い、報告書を作成したりした。
(2)非常勤講師担当科目	
①担当科目名（単位数）	開講学校名
②内容・ねらい（自由記述）	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	
④本学における業務との関連性（自由記述）	
(3)その他の教育活動	
3年生のゼミ活動の一環として、2019年9月に福井工芸産業振興協議会・華道未生流福井支部の主催で開催された「第15回 暮らしの工芸展」において、アンケート調査を実施した。	

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①論文 ・「和歌山藩領における天保クライシスの実態－沿岸部と内陸部の比較を中心として－」、阿部英樹教授（中京大学）との共著（池本は主に史料の分析を担当）、『中京大学経済学論叢』第29号、2018年3月 ・「人口減少社会における地方寺院経営の現状－高野山真言宗和歌山宗務支所を事例として－」、共著者なし、『高野山大学密教文化研究所紀要』第32号、2019年3月
②著書
③学会報告等 ・「大和幕領における近世地主制の実態と特質－宇智郡を事例として－」、奈良歴史研究会2月例会、2018年2月、共同報告者なし
④その他の公表実績
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動 ・日本人口学会2018年度関西地域部会の討論者、2019年3月
学会での役職など
学会・分科会の開催運営
(3)研究会活動等
①その他の研究活動参加 ・和食形成史研究会（2018年～現在）
②その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
・科研費（若手研究B） 研究課題：「近世日本社会における死亡構造の地域差に関する研究」（課題番号：17K18216） 2017～2020年度（予定）、研究代表者：池本裕行
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会
②国・地方公共団体等の調査受託等
③（公益性の強い）NPO・NGO法人への参加
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等

⑥その他
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講
②社会人・高校生向けの講座
③その他
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
<ul style="list-style-type: none"> ・橋本市図書館主催の子供向け図書館講座における講師（2017年7月（橋本市恋野）、2018年8月（高野山）、2019年8月（橋本市図書館）） ・橋本市図書館主催の出前講座における講師（2018年6月（応其小学校）） ・橋本市図書館主催の図書館講座における講師（2018年11月（橋本市図書館）） ・橋本市図書館を使った調べる学習コンクールにおける審査員長（2017年度～現在）

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
(2)委員会・チーム活動
<ul style="list-style-type: none"> ・経済経営研究編集委員（2019年度） ・ゆるやかな履修モデル検討WG（2019年度） ・新入生交流オリエンテーション運営委員（2019年度） ・『福井学』推進メンバー（2019年度）
(3)学内行事への参加
<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度新入生交流オリエンテーション（2019年4月6日）
(4)その他、自発的活動など